令和３年度決算に係る

定　期　監　査
　　　　　　　　資　料
決　算　審　査

令和４年８月

生活環境部　循環型社会推進課

目　　次

１　前年度指摘事項等に対する措置等・・・ １頁
(1)　指摘事項
(2)　監査意見
(3)　決算審査意見
２　前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況・・・ １頁
３　職員の定員、現員調べ・・・ １頁
４　役付職員の調べ・・・ １頁
５　主な事業に関する調べ・・・ ２頁
６　決算資料・・・ ５頁
７　事業別実施状況調べ・・・ ６頁
８　予備費の充用調べ・・・ ９頁
９　現金の取扱状況・・・ ９頁
(1)　現金取扱状況
(2)　つり銭の状況
１０　財産に関する調べ・・・ ９頁
(1)　公有財産
(2)　金券類の保有状況
(3)　基金
(4)　債権
１１　財産の貸付け及び使用許可調べ・・・ 11頁
(1)　土地及び建物
(2)　物品（１品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）
１２　借受不動産明細調べ・・・ 11頁
１３　職員駐車場の管理状況調べ・・・ 11頁
(1)　管理状況
(2)　減免の考え方
(3)　使用料の見直し
１４　寄附物件の受納状況調べ・・・ 11頁
１５　備品の処分状況調べ・・・ 11頁
１６　貸付金等状況調べ・・・ 12頁
(1)　総括表
(2)　償還状況
１７　環境関係施設監視等の状況・・・ 14頁

○　意見、要望等・・・ 15頁

1　前年度指摘事項等に対する措置等

（1）指摘事項
　　該当なし

（2）監査意見
　　該当なし

（3）決算審査意見

決　算　審　査　意　見	処　　理　　状　　況　　等
○収入未済額の縮減について 　税外収入では、債権管理事務取扱要領等に沿って、収入未済発生の未然防止や滞納初期の対応など債権の適正な管理、回収に取り組まれたい。	毎年度当初に、債権者と電話連絡により返済計画を確認するほか、必要に応じて債権者に面談し、定期的な支払いを求めている。

2　前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
　該当なし

3　職員の定員、現員調べ

種別／区分	事務職員		技術職員		現業職員		合　計		備　　考
	4.4.1 現　在	3.4.1 現　在	4.4.1 現　在	3.4.1 現　在	4.4.1 現　在	3.4.1 現　在	4.4.1 現　在	3.4.1 現　在	
定　　員	３	３	７	７			１０	１０	
現　　員	（２） ４	（２） ４	（４） １１	（３） １０	（　）	（　）	（６） １５	（５） １４	派遣：(公財)鳥取県環境管理事業センター(事務1、技術3) 受入：鳥取県警察本部(事務1) 育児休業(技術1)
過不足(△)	０	０	０	０			０	０	
臨時的任用職員	０	０	０	０			０	０	
会計年度任用職員	１	１	０	０			１	１	事務補助

4　役付職員の調べ

（令和４年８月１日現在）

職　　名	氏　　名	在職期間（年）	在職期間（月）	備　　考
課長	後藤田　拓也	２	４	
課長補佐	古川　義秀	４	４	
課長補佐	森田　晃祥	１	４	

５　主な事業に関する調べ

（単位：千円）

事　　業　　名	決算額	財　源　内　訳			
		国庫支出金	起　　債	そ の 他	一般財源
とっとりプラごみゼロチャレンジ事業	8,410	1,903		6,044	463

将来ビジョン	３　守る　豊かな恵み・生活を守り、次代につなぐ （２）循環型社会・低炭素社会が確立（プラスチックごみ・食品ロスの削減等）
令和新時代創生戦略	１．豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる　鳥取＋ism （３）エコスタイル　　①地球規模での環境課題への対応
政策項目	暮らし新時代づくり プラごみ削減運動や鶏糞の畜産利用などリサイクル推進

１　事業の目的、概要

プラスチックごみ（以下「プラごみ」という。）が及ぼす環境汚染が国際的課題となっているなか、本県においても、県民・企業・行政が一体となりプラごみ排出ゼロに向けた取組を行う。

２　事業の内容、実施の状況

ア　プラごみアート巡回事業

県内在住アーティスト「淀川テクニック」による海ごみアート「とっとりプラホウドリ」の制作、作品の県内巡回展示、ワークショップを通じて、プラごみゼロの意識啓発を行った。

巡回展示：R3.11.12～R4.5.24、県内９箇所(小学校・高等学校・公共施設)

ワークショップ：R3.12.7、米子市立崎津小学校5年生

イ　プラスチック・フィッシング事業

海のアクティビティや観光の事業者等が企画するごみ拾いツアーに要する経費の一部を支援した。併せて、活動の様子を撮影した写真を活用し、写真展を開催した。

事業参加者：延べ919名　写真展：R4.1.20～R4.2.2、倉吉未来中心アトリウム

ウ　とっとりプロギング開催事業

ごみ拾いをしながらジョギング（プロギング）するイベントを計画したが、新型コロナウイルスの影響により中止した。

エ　河川を流れるプラごみ調査

袋川河川敷（鳥取市）において、公立鳥取環境大学学生と連携し調査を実施した。調査結果は、新聞広告で公表（R4.2.26）し、県民の意識啓発を図った。

調査実施日：R3.11.16　調査結果：ごみの数量394個（1,645g）うちプラスチック類235個（938g）

オ　「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業補助金

プラスチックごみの排出抑制・リサイクル等に取り組む事業者等を支援した。

・エコテイクアウト推進事業：６事業者（環境配慮型容器への切り換え）
・プラごみゼロ実践活動支援事業：２事業者（プラごみ調査、ワークショップ）
・河川・海岸における清掃活動支援：２事業者

カ　マイボトル運動の推進

使い捨てプラスチック容器の使用抑制を図るため、マイボトルやマイカップ等が使用できる協力店を募り、キャンペーンを通じてマイボトル運動を推進した。

キャンペーン期間：R3.12.1～R4.1.31　協力店舗数：38店舗

キ　「とっとりプラごみゼロ」チャレンジャーの登録

プラごみの排出抑制やリサイクルに取組む事業者を「とっとりプラごみゼロ」チャレンジャーとして登録。のぼりを配布し、率先事業者として取組内容を県ホームページに掲載した。

登録者数（R3年度末）：46事業者104店舗（R2年度末：31事業者99店舗）

３　事業成果（改善状況）・課題等

○県内各地での海ごみアート巡回展示やプラスチック・フィッシング事業等を通じて、プラごみの実態を実感する機会を県民に提供できた。

○R4.4の「プラスチック資源循環促進法」施行により、ライフサイクルの各段階でプラごみの資源循環等の取組が求められることから、更に「プラスチックごみゼロ社会」の実現を県民運動として盛り上げるため、引き続き啓発事業を実施していく必要がある。

（単位：千円）

事　　業　　名	決算額	財　源　内　訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	3,264	213		2,408	643

将来ビジョン	3　守る　豊かな恵み・生活を守り、次代につなぐ （２）循環型社会・低炭素社会が確立（プラスチックごみ・食品ロスの削減等）
令和新時代創生戦略	１．豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる　鳥取＋ism （３）エコスタイル　　①地球規模での環境課題への対応
政策項目	暮らし新時代づくり 　プラごみ削減運動や鶏糞の畜産利用などリサイクル推進

（概　要）

1　事業の目的、概要

　ごみゼロ社会の実現に向けたごみ排出量の一層の削減を図るため、引き続き食品ロス削減に重点的に取組、県民を挙げたごみゼロ意識の醸成を図るとともに、ＳＤＧｓの目標「12つくる責任、使う責任」が果たされる社会を目指した取組を推進する。

2　事業の内容、実施の状況

ア　もったいない！食べ残しゼロ事業

　飲食店等で食べ切れない料理の持ち帰りの普及を目的にモニター調査を実施し、協力飲食店及びモニター員から、料理の持ち帰りに関する意識や課題を把握した。

イ　ごみゼロポスターコンクール事業

　食品ロス削減やプラスチックごみの排出抑制・再資源化を呼びかけるポスターを募集し、課題に対する理解を深めるとともに、最優秀作品は啓発ポスター等に使用するなど意識啓発に活用した。

　応募作品：84作品

ウ　幼児を対象とした意識啓発活動の実施

　鳥取県連合婦人会に委託して、歌や絵本、紙芝居等を使った啓発活動を県内の保育施設等17か所で実施し、幼少期から食べ残しを減らす意識や物を大事にする意識の醸成を図った。

エ　フードドライブ事業の実施

　鳥取県生活協同組合に委託して、家庭や事業所等の余剰食品を持ち寄り、フードバンク等に提供する活動「フードドライブ」を実施（計 2,271点、約2,118kg）し、事業の理解と認知向上を図った。

オ　鳥取県食品ロス削減推進協議会の運営

　食品流通事業者や食料支援団体、消費者等で構成する鳥取県食品ロス削減協議会（H30.9設置）を書面開催（R3.11）し、Ｒ4年度施策等に関する意見等をいただいた。

カ　Let’s４Ｒ実践活動推補助金・４Ｒ推進交付金

　ごみ減量・リサイクルに取り組む実践活動団体や市町村等を支援した。

　・Let’s４Ｒ実践活動推補助金：因幡環境(株)、(有)西川商会、鳥取県商工会女性部連合会、鳥取市

　・４Ｒ推進交付金：境港市、八頭町

キ　とっとり食べきり協力店の登録

　外食での食べ残し削減、家庭での食材使い切りを支援する飲食店や宿泊施設小売店等を食べきり協力店として登録（Ｒ３年度末時点　103店舗）し、登録店舗等を県ホームページで周知した。

2　事業成果（改善状況）・課題等

○フードドライブ事業の実施に当たり、広く県民から寄付食品の提供を受けるため、県庁機関（本庁舎、中部・西部総合事務所）にも受付窓口を開設した。フードドライブ活動に取り組む民間企業が現れるなど、認知度が向上してきている。

○ごみ排出量の発生抑制に向けて、大きな要因である食品ロス削減を更に推し進めるため、県民及び事業所等に向けた啓発活動を継続して実施する必要がある。

（単位：千円）

事　　業　　名	決算額	財　源　内　訳			
		国庫支出金	起　債	そ の 他	一般財源
環境管理事業センター支援事業 （事業費）	9,230				9,230 (内6,715は R4に繰越)

将来ビジョン	３　守る　豊かな恵み・生活を守り、次代につなぐ （２）循環型社会・低炭素社会が確立（プラスチックごみ・食品ロスの削減等）
令和新時代創生戦略	１．豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる　鳥取＋ism （３）エコスタイル　①地球規模での環境課題への対応
政策項目	暮らし新時代づくり プラごみ削減運動や鶏糞の畜産利用などリサイクル推進

（概　要）

１　事業の目的、概要

県内での産業廃棄物管理型最終処分場（以下「最終処分場」という。）の整備を目的とする（公財）鳥取県環境管理事業センター（以下「センター」という。）の支援を通じて、産業廃棄物の適正な処理の促進を図る。

令和３年度は、センターに対して、周辺整備計画策定準備等に必要な経費を支援した。

２　事業の内容、実施の状況

センターの最終処分場整備に必要な費用に対して補助等を行い、センターによる取組みが、次のとおり行われた。

・令和２年度に引き続き、最終処分場周辺の整備計画を策定するために周辺自治会の要望について、概算費用の算出及び概略図面の作成を実施し、当該自治会（役員）へ説明した。

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一部の自治会で協議が進まず、令和３年度内の執行が困難となったため、補助金の一部（6,715千円）を翌年度に繰越した。

・令和２年度に実施した最終処分場計画地内の埋蔵文化財発掘調査に係る発掘調査報告書を作成（委託先：一般財団法人米子市文化財団）し、関係機関等（国、主要図書館、都道府県、県内市町村、各県の埋蔵文化財センター、大学等の研究機関等270箇所）に配布した。

３　事業の成果（改善状況）・課題等

○最終処分場の周辺整備計画に関して、周辺自治会の要望について聞き取りを行い、必要となる経費の整理を進めた。なお、令和３年度内の執行が困難となった自治会について、引き続き実施する必要がある。

○埋蔵文化財発掘調査報告書が完成し、最終処分場計画地内の百塚８８号墳の発掘調査結果が明らかとなった。

○最終処分場の整備に向けて、継続してセンターを支援する必要がある。

６　決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算現額 当初予算額	予算現額 補正予算額	予算現額 継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	予算現額 計	調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A－B－C	備考
歳入	衛生手数料	28,721,000	0	0	28,721,000	28,862,300	28,862,300	0	0	
	衛生費国庫補助金	9,382,000	△5,471,000	0	3,911,000	2,116,193	2,116,193	0	0	
	利子及び配当金	1,000	0	0	1,000	791	791	0	0	
	地域環境保全基金繰入金	14,072,000	△3,461,000	0	10,611,000	8,857,642	8,857,642	0	0	
	弁償金	5,000,000	0	0	5,000,000	33,691,822	191,000	0	33,500,822	
	雑入	4,787,000	175,000	0	4,962,000	0	0	0	0	
	合計	61,963,000	△8,757,000	0	53,206,000	73,528,748	40,027,926	0	33,500,822	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予算現額 当初予算額	予算現額 補正予算額	予算現額 継続費及び繰越事業費繰越額	予算現額 予備費支出及び流用増減	予算現額 計 A	支出済額（決算額） B	支出済額の内訳 本庁	支出済額の内訳 出納機関	翌年度繰越額 C	差引残額（不用額） A－B－C	備考
歳出	一般管理費	0	0	0	95,690	95,690	0	0	0	0	95,690	
	環境保全費	143,293,000	△24,582,000	0	0	118,711,000	88,205,373	86,450,264	1,755,109	6,715,000	23,790,627	
	合計	143,293,000	△24,582,000	0	95,690	118,806,690	88,205,373	86,450,264	1,755,109	6,715,000	23,886,317	

7　事業別実施状況調べ

（単位：円）

事　業　名	予算現額 当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計 A	支出済額（決算額） B	翌年度繰越額 C	差引残額（不用額） A−B−C	執行率 B/A	事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等
（環境保全費） （主）「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	22,288,000	△9,687,000		△1,500,000	11,101,000	8,409,648		2,691,352	75.8	主な事業に関する調べのとおり ・循環型社会推進費へ流用 1,500,000円 （不要となった理由） ・新型コロナウイルスの影響により、「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業補助金及びプラスチック・フィシング事業補助金の補助実績が想定を下回ったため。
（主）ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	5,401,000	△1,396,000			4,005,000	3,263,292		741,708	81.5	主な事業に関する調べのとおり
（主）環境管理事業センター支援事業（事業費）	15,945,000				15,945,000	9,230,000	6,715,000	0	100	主な事業に関する調べのとおり （繰越の理由） 事業進捗によるもの。
環境管理事業センター支援事業（運営費）	43,561,000	△8,276,000			35,285,000	31,497,700		3,787,300	89.3	鳥取県環境管理事業センターの運営に係る経費。
ＰＣＢ廃棄物処理対策推進事業	5,000,000				5,000,000	0		5,000,000	0.0	ＰＣＢ廃棄物の行政代執行に対応した経費。 （不用となった理由）

									・行政代執行対象案件の未発生による。
不法投棄廃棄物対策事業	8,035,000				8,035,000	2,873,834		5,161,166	35.8	不法投棄の監視対策等を通じて、不法投棄の未然防止及び廃棄物の適正処理を推進した。 （不要となった理由） ・不法投棄産業廃棄物代執行対策事業に係る案件の未執行による。
産業廃棄物適正処理推進事業	28,515,000	△7,222,000		△1,072,162	20,220,838	17,313,222		2,907,616	85.6	廃棄物処理施設の設置及び産業廃棄物処理業の許可並びに処理施設への立入検査、排出事業者・処理業者の指導を行った。 ・循環型社会推進費へ流用 1,072,162円
廃棄物処理施設紛争予防事業	1,213,000	△597,000			616,000	0		616,000	0.0	廃棄物処理施設設置手続条例に基づき、施設設置に関して廃棄物審議会を開催する。 （不用となった理由） ・廃棄物審議会の不開催による。
鳥取県産業廃棄物適正処理基金積立事業	7,349,000	2,421,000			9,770,000	9,570,469		199,531	98.0	産業廃棄物最終処分場の設置促進の施策に充当するための基金の積立。
循環型社会推進費	5,986,000			2,572,162	8,558,162	5,938,208		2,619,954	69.4	循環型社会の推進に必要な活動を行うための連絡調整等の事務的経費。 ・「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業及び産業廃棄物適正処理推進事業から流用　2,572,162円 （環境美化看板の撤去等） （不用となった理由）

										・課の事務費執行が想定を下回ったことによる。
不法投棄等原状回復支援金返還金		175,000			175,000	109,000		66,000	62.2	硫酸ピッチの代執行費用について、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団の支援額に対する当該年度の返還金。 （不用となった理由） ・債権回収が予定どおりに進まなかったことによる。
目　　計	143,293,000	△24,582,000		0	118,711,000	88,205,373	6,715,000	23,790,627		
（一般管理費）	0			95,690	95,690	0	0	95,690	0.0	（不用となった理由） 赴任旅費を環境保全費で対応したことによる。
目　　計	0			95,690	95,690	0	0	95,690		
合　　計	143,293,000	△24,582,000		95,690	118,806,690	88,205,373	6,715,000	23,886,317		

８　予備費の充用調べ
該当なし

９　現金の取扱状況
該当なし

１０　財産に関する調べ
（１）公有財産
ア　土　地
該当なし

イ　建　物
該当なし

ウ　山　林
該当なし

エ　不動産売却等
該当なし

オ　財産の交換
該当なし

カ　動　産（船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機）
該当なし

キ　物　権
該当なし

ク　無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）
（ア）異動状況
該当なし

（イ）出願及び登録の状況
該当なし

（ウ）活用の状況
該当なし

ケ　有価証券
該当なし

コ　出資による権利

（令和４年３月３１日現在）

区　　分	前年度末（数量、金額）	本年度中 増	本年度中 減	本年度末（数量、金額）	法　人　名	備　考
出　　資	円 30,000,000	円 0	円 0	円 30,000,000	(公財)産業廃棄物処理事業振興財団	
出　　資	6,802,536	0	0	6,802,536	(公財)鳥取県環境管理事業センター	
出　　資	50,000,000	0	0	50,000,000	(公財)鳥取県環境管理事業センター	
合　　計	86,802,536	0	0	86,802,536		

（２）金券類の保有状況

ア　金券の保有状況

有　・　(無)

イ　タクシーチケットの保有状況

（令和４年３月３１日現在）

前年度末未使用枚数	本年度中 購入枚数	本年度中 使用枚数及び金額	本年度末未使用枚数
１０枚	０枚	０枚 ０円	１０枚

（３）基　金

（令和４年３月３１日現在）

種　　別	前年度末	本年度中 増	本年度中 減	本年度末	備　　考
鳥取県産業廃棄物定積処理基金	円 80,025,181	円 9,570,469	円 0	円 89,595,650	
合　　計	80,025,181	9,570,469	0	89,595,650	

（４）債　権

（令和４年３月３１日現在）

債権の名称	前年度末 金　額	前年度末 件数	本年度中 増 金　額	本年度中 増 件数	本年度中 減 金　額	本年度中 減 件数	本年度末 金　額	本年度末 件数	備　考
産業廃棄物処理施設確保資金	円 120,391,503	1	円 8,944,474		円		円 129,335,977	1	
産業廃棄物管理型最終処分場整備資金	59,259,935	1	2,567,000				61,826,935	1	
合　　計	179,651,438	2	11,511,474				191,162,912	2	

１１　財産の貸付け及び使用許可調べ

（１）土地及び建物

ア　土　地

該当なし

イ　建　物

該当なし

（２）物　品（１品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）

該当なし

１２　借受不動産明細調べ

該当なし

１３　職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

１４　寄附物件の受納状況調べ

該当なし

１５　備品の処分状況調べ

該当なし

１６　貸付金等状況調べ

（１）総括表

（単位：円）

貸付金の名称	貸付先	貸付額		本年度（元金のみ）			本年度末現在貸付残高	備考
		前年度末現在貸付残高（Ａ）	本年度貸付額（Ｂ）	償還額（Ｃ）	不納欠損額（Ｄ）	償還免除額（Ｅ）	(A+B)-(C+D+E)	
産業廃棄物処理施設確保資金	(公財)鳥取県環境管理事業センター	120,391,503	8,944,474				129,335,977	
産業廃棄物管理型最終処分場整備資金	(公財)鳥取県環境管理事業センター	59,259,935	2,567,000				61,826,935	
合計		179,651,438	11,511,474				191,162,912	

（２）償還状況

（産業廃棄物処理施設確保資金）

（単位：円）

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在貸付残高（Ａ）	本年度貸付額（Ｂ）	区分	収入調定額（Ｃ）	償還額（Ｄ）	不納欠損額（Ｅ）	償還免除額（Ｆ）	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)	
元金	120,391,503	8,944,474	過年度分						129,335,977	
			現年度分							
			小計							
利子			過年度分							
			現年度分							
			小計							
			合計							

（産業廃棄物管理型最終処分場整備資金）　　（単位：円）

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在貸付残高（A）	本年度貸付額（B）	区分	収入調定額（C）	償還額（D）	不納欠損額（E）	償還免除額（F）	収入未済額（C-D-E）	償還期未到来分（A+B）－（C+F）	
元金	59,259,935	2,567,000	過年度分						61,826,935	
			現年度分							
			小計							
利子			過年度分							
			現年度分							
			小計							
			合計							

１７　環境関係施設監視等の状況

（１）環境関係施設監視等の状況

＊　対象施設の選定方針

・例年の実績報告を基に、不適正な処理が疑われる事業所を中心に監視を行う。

＊　当年度重点検査事項

・実績報告に不適正処理が疑われる場合に、検査を行う。

（令和４年３月３１日現在）（単位：箇所、件）

区分		対象施設数	監視・検査施設数	違反等件数		違反事項等の概要			
				施設数	件数	処分等件数			主な違反事項等の概要
						告発	処分	文書指導	
フロン排出抑制関係	フロン類充填回収業者	235	0	0	0	0	0	0	当年度、不適正処理が行われるものはなかった。

（２）廃棄物処理施設監視等の状況

ア　廃棄物処理施設監視指導の状況

＊　対象施設の選定方針

・収集運搬業（積替え保管あり）の保管施設及び事務所を中心に選定した。

＊　当年度重点検査事項

・違反の情報を取得した事業所について、重点的に指導を行った。

（令和４年３月３１日現在）（単位：箇所、件）

区分	対象施設数	監視・検査施設数	違反等件数		違反事項等の概要			
			施設数	件数	処分等件数			主な違反事項等の概要
					告発	処分	文書指導	
産業廃棄物排出事業所								【処分】 ・許可取消し　0件 ・営業停止　　0件 【主な違反事項】 ・なし
産業廃棄物処理業者 （積替え保管施設を有する事業者）	274 (3)	5						
産業廃棄物最終処分場								
使用済物品回収業者								
計	274 (3)	5						

イ　不法投棄監視の状況

（令和４年３月３１日現在）（単位：件）

区分	不法投棄件数			当年度処理済件数	監視件数	処分等件数			主な違反事項等の概要
	前年度未処理	当年度発生	合計			告発	処分	文書指導	
Ｈ30年度	0	0	0	0	11	0	0	0	
Ｒ元年度	0	0	0	0	10	0	0	0	
Ｒ２年度	0	0	0	0	9	0	0	0	
Ｒ３年度	0	0	0	0	12	0	0	0	

※監視件数は、監視カメラ設置件数

○　意見、要望等

（１）業務に関する意見・要望等

特になし

（２）監査委員事務局に対する要望等

特になし